

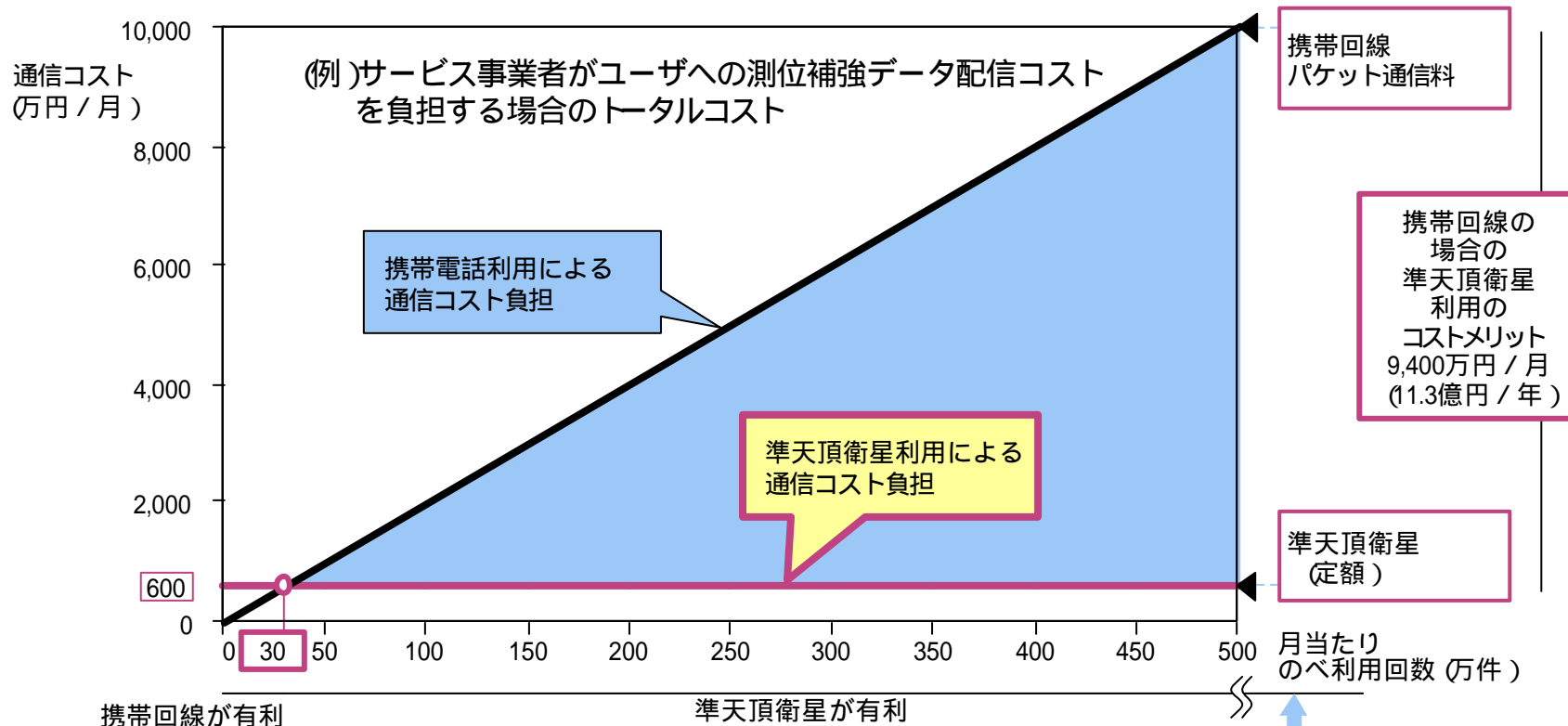
# 測位補強サービスに関する地上系 システム整備との定量的なコスト比較

2003年11月27日

新衛星ビジネス株式会社

# 測位補強サービスにおける地上系システムとの定量的なコスト比較

(携帯電話により測位補強データ配信を行う場合との通信コストの比較)



月30万件を超える利用がある場合には、準天頂衛星利用の方がコストメリットがある。

さらに携帯電話で全国面積カバーしようとするれば、設備投資の追加コストが発生する。

(参考)カーナビ普及台数 (VICS対応) 717万台 (2003年6月末現在)

準天頂端末の費用 (数万円程度) は、携帯電話の費用 (端末費用 + 基本料金3,000円/月程度) を考慮すると、約1~2年の使用で回収できるため、本コスト比較では両者の通信コストのみを対象とした。